



新庄北高PTA会報

# 銀雪

第29号 2024.2.29



## 一年間の感謝を込めて

PTA会長

栗田 修



新型コロナウイルスの五類移行に始まった令和五年度もあと残り少しくなりました。PTAの皆様には、様々な学校行事や学校運営への御協力、柔軟な対応をいただき心から感謝申し上げます。

世界を脅かさせた新型コロナウイルスという大災害が終息に向かいつつあった中、能登半島地震という新たな大災害が発生しました。

今までの災害に対する考え方は過去数十年の最大に耐えうる規模を想定し、それに備えることが基準とされてきましたが、近年の災害はそれを大きく上回る規模の災害が増えつつあります。

想定を超える事態が発生した場合、どう対応していくのか、どう乗り越えていくのか。これから生きていくためには、この対応力が求められていくのではないかと思います。

中学、高校とこのわずか何年かに起きた大災害を経験してきた生徒皆さんには、この対応力が必ず培われているものと思います。

これからの次代を担う生徒の皆さんに大きく期待し、さらなる飛躍を祈っております。

最後に、ご指導いただきました校長先生をはじめ先生方に感謝とお礼を

申し上げます、今後の新庄北高の益々の発展を心よりご祈念申し上げます。

## 一年を振り返って

校長 石山 宣浩



一年間のPTA活動へのご理解とご協力に

心から感謝申し上げます。新型コロナウイルスが五類に移行した五月以降、PTA活動も様々な場面で従前の姿に戻して行う場面が多くなりました。一方で全国ではコロナ禍に重なるようにPTAの存在やあり方に関わる議論も出てきました。今年度、久しぶりの活動に参加されてみての皆様方の感想はいかがだったでしょうか。率直な声をお聞かせいただければと思います。

実際、時間は有限で貴重な資源です。誰もがいつでも活動できるわけではありません。地区の研究集会では、人数の減少により専門委員会を廃止し全員で取り組んでいる学校の事例も紹介されました。生徒の成長を応援するために無理なく楽しく気軽に参加できる持続可能なPTA活動をどう構築していくか、コロナ後の今こそ求められています。皆様とともに知恵を出し合いながら進めていきたいと考えているところです。さてその地区研究大会の研修会では「リフレミング」ということを学びました。一言で言えば、見方を変えて表現してみることで、親子

のコミュニケーションがうまくいかなかったり、意欲や自信がなくなったり、という場面には有効な手立てです。私たちの日常にも大切なヒントを与えてくれます。「リフレミング」で検索するとたくさん具体的な例が出てきますので、時間のある時にぜひ一度ご覧になってみてください。PTA活動がよりよい学びあいの場となるよう、今後ともよろしくお願いいたします。

## すこでも良かった PTA研究集会

健全育成部 信夫 貴吉



最北地区の研究集会に先生方と栗田PTA会長を含めPTA一〇人で参加してきました。とても印象的だったのは生徒数の少ない高校の活動発表で、少なさを逆手に取った学校行事、PTA活動が楽しそうだったことです。それを助言者の前新北校長の高橋さんは「変化を恐れず、楽しむ」と表しました。

また、講演では「苦手」を「強み」に変えるリフレミング（肯定変換）のゲームがあり、私は新北の石山校長先生から「人見知り」を「自分の世界を大切に出来る」に変えて頂きました。ありがとうございました。

## 革新を、確信。

後期生徒会長

阿部 薫人

令和五年度後期生徒会スローガンは「革新。」です。代表して二つ、何をどう変革するのかを示します。

一つ目は「行事改革」です。マラソンは「廃止」あるいは「任意制」、クラスマッチは行事時間を何らかの形で確保し「実現」出来るよう活動していきます。

二つ目は「服装改革」です。「体育後は着替えなければならぬ」「ラン代わりのジャージ着用は認められない」こうした起源が忘却され、取り残された服装規定を改革するために活動していきます。

革新の核心は以上です。革新に向けた活動で、多方面に迷惑を掛けてしまっています。生徒をはじめ先生方からも協力頂ける有り難みを忘れず、邁進します。僕たちならできると確信しています。



# 月桂冠を戴かん

《令和五年度部活動等成績後期》  
運動部 県大会ベスト8以上

## 陸上部

〔第78回東北高等学校陸上競技大会〕  
男子三段跳 第7位 佐藤 翔真  
男子やり投 第7位 阿部 拓真  
〔令和五年度山形県高等学校新人大会〕  
弓道部  
男子団体  
予選 40射20中 予選通過(4位)  
決勝 1回戦 対 寒河江工業 12-11  
2回戦 対 山形南 10-13

## 男子個人 バドミントン部

阿部 真宙 6位  
※ベスト4  
男子個人 シングル ベスト8 八畝 葵  
ソフトテニス部  
1回戦 対 米沢工業 2-1  
2回戦 対 東海大山形 1-2  
※ベスト8

## スキー部

〔第75回山形県高等学校スキー大会〕  
〔クロスカントリ〕  
〔男子〕 10km F 第8位 柿崎 雅空  
第9位 遠藤 雅空  
第6位 遠藤 雅空  
第1位 柿崎 雅空  
5km C 第1位 鈴木 玲菜  
〔女子〕 5km F 第9位 柿崎 雅空  
第10位 遠藤 雅空  
第14位 鈴木 玲菜  
第7位 鈴木 玲菜  
〔第73回全国高校スキー大会〕  
〔クロスカントリ〕  
〔男子〕 10km F 第7位 柿崎 雅空  
第9位 遠藤 雅空  
第8位 遠藤 雅空  
第10位 柿崎 雅空  
〔女子〕 5km C 第9位 鈴木 玲菜

## 文芸部

〔おーいお茶新俳句大賞〕 参加  
〔第22回山形県高校文芸コンクール〕  
文芸部誌部門 佳作『飛沫2023』  
〔第38回全国高等学校文芸コンクール〕  
詩部門 入選 3年 堀米 美鈴

## 演劇放送部

〔第62回村山最北地区高等学校演劇合同発表会〕  
優良賞第一席  
美術部  
〔第47回山形県高等学校総合文化祭第7回山形県高等学校美術展〕  
努力賞 3年 岸 真優「手向け」  
出品 3年 五十嵐 煌「大怪獣ウツギラス」  
3年 栗林 真琴「時間がいない朝」  
2年 藤原 理緒「過ぎた夏」  
2年 柿崎 風羽「移ろう」  
1年 福田 優太「幻」

## 書道部

〔第29回山形県民ふれあいジュニア書道展〕  
半切の部  
読売新聞社賞 3年 早坂 愛希  
特選 3年 渡部 佳純  
金賞 2年 高山 愛  
金賞 2年 菅 紗羽  
半紙の部  
銀賞 2年 菅 紗羽  
1年 岸 大和

## 吹奏楽部

〔第47回山形県アンサンブルコンテスト最北地区予選会〕  
金賞 木管8重奏 ※地区代表  
銀賞 打楽器4重奏  
銅賞 金管7重奏  
銅賞 木管8重奏  
〔第47回山形県アンサンブルコンテスト〕  
銅賞 木管8重奏

## 地域探究部

〔山形県探究型学習課題研究発表会〕 参加  
各種コンクール結果  
〔第69回青少年読書感想文コンクール〕  
県審査 入選 1年 丸山明日香  
最北支部審査 優秀 1年 丸山明日香  
佳作 2年 那須 理子  
〔第43回全国高校生読書体験記コンクール〕  
入選 2年 鈴木 桜花  
〔第60回新庄市読書感想文コンクール〕  
優秀賞最上育英会賞 1年 青柳 滯  
優良賞 2年 阿部 小雪  
優良賞 1年 土田 結菜

## 弓道部

〔第75回最上地区中学校高等学校英語弁論大会〕  
高等学校の部 第3位 1年 星 七菜子

# 頑張っています

## 全国文芸コンクール 授賞式に参加して

文芸部 堀米 美鈴



## この一本に魂を込めて

弓道部 阿部 真宙

県新人大会男子団体で三位になることができました。予選で

は順調の中の重ね、決勝トーナメントの出場権を勝ち取りました。決勝トーナメント一回戦は去年負けた寒河江工業との対戦で、リベンジの気持ちで挑みました。序盤からいい流れで的中を重ね、勝利する事が出来ました。準決勝に進み、去年の優勝校の山形南と対戦しました。相手の勢いに飲み込まれたまま負けてしまいました。試合が終わった後に「あの一本を中てる事ができた」「あの一本で流れを止めてしまった」と後悔の気持ちが残りました。改めて自分に与えられた矢の一本一本の責任の重さを実感しました。また、山形南に勝つ事が出来たら夢に見た東日本大会の出場権を獲得する事が出来たので、悔しかったです。この大会を終えて目標が再構築されました。その目標はインターハイ出場です。今大会の悔しさを忘れず日頃の稽古をよりよいものにしていきたいです。今後も新庄北高校弓道部の応援を宜しくお願いします。



# 山形県探究型学習課題研究発表会に参加して

## AIは人を裁けるのか

二年四組 奥山 莉子



私は、東京大学で行われた、対話型AI「ChatGPT」を裁判官役とした模擬裁判イベントをみて、AIが人を裁けるのかについて疑問に思い、現役の裁判官や、AIを研究する大学の先生へインタビュー調査を行いました。また、AIから裁かれることについても考察しました。通常授業の学習と探究型学習、一番の相違点は「正解がない」というところだと思っています。今回は約半年間、課題研究を行いました。何年度調査や考察を重ねても次々と湧き出てくる疑問にいつも頭を悩まされていきました。しかし、県大会で知的探究心溢れる他校の活き活きとした発表を聞き、これは課題研究において最も骨が折れる部分であると同時に、最も面白いところでもあるのだと感じました。「探究」は本当に多

くの労力を必要とする活動です。でもその分、培われたものはきっと大人になっても私達を助けてくれる力になると思います。

## 真室川でナビゲーションスポーツをするには？

二年四組 高橋 義



私が幼い頃から親しんできた、オリエンテーリングなどのナビゲーションスポーツを真室川町で実施することで、生涯スポーツの促進につながるかと考えて研究を始めました。町役場や町の体育館の協力のもとで、実際に真室川運動公園内に誰でも利用できるオリエンテーリングコースを設置しました。施設利用の交渉、専用の地図作成など多くの作業があり大変でしたが、ゼロから何かを創り上げていく過程での計画力と実行力の大切さを実感しました。県大会では事前に校内で発表練習をしたものの、参加者の多さに緊張しました。しかし、落ち着いて自分の

知的好奇心に従順でいることで、五回の発表が段々と洗練されていきました。他校の探究活動のレベルの高さにはとても驚かされました。率直に言うと、詳細な内容は理解できない所もありました。専門用語が多くても視覚的にカバーし、統計的なデータを駆使するのも常套手段で、フレームワークを越えた奇抜なアイデアが溢れていました。今年の県大会は探究コースの一年生も見学していたので、今後の参考になるところが多くあったはず。来年の新北の研究クオリティが高まることを楽しみにしています。

## 雪でiPhoneを充電したい

二年三組 舟生 橙吾



私達の班では、ペルチエ素子のゼーベック効果という現象に着目し、この効果を使えば雪で発電できるのではないかと考え、実際に検証しました。雪と熱湯の温度差を用い

て、スマートフォンを充電することはできましたが数秒で給電が止まってしまい実用段階までは及びませんでした。今回の課題研究を通して私は、計画的に準備しなければなりません。研究にならないということを実感しました。研究してみたいテーマや、絶対にやりたい実験があるのだったら計画してやったほうが良いと思いました。県大会本番では、周りの学校のプレゼン、ポスターのレベルの高さに驚かされました。でもそれだけで怯んではダメなので、自分の発表に自信を持って大きな声でハキハキと発表することを心がけました。たくさんの方が発表を聞きに集まってくださり、様々な視点から数多くの質問がきました。来る質問を予測して準備しておくということも大切だと感じました。



# 山形の未来創造高校生アイデアコンテストに参加して

## 田んぼアートで

### 地域を元気に

二年四組 加藤 響

二年三組 川又 美月

私達は、田んぼアートは本当に地域おこしに役立つのかについて研究を行いました。研究を進める中で、田んぼアートで作られた地域内の盛り上がり外部にはなかなか伝わっていないと感じました。また、農家さんに対するメリットも必要であることがわかりました。これらの課題を解決するために、田んぼアートは「農業体験」と「見る」という二つの観点で活用できると思い、「ファームステイプロジェクト」と「スタンブラリー」というアイデアを考えてプレゼンしました。

本番では一〇チーム中一番目の発表でも緊張しましたが、発表が始まるとあつという間でした。アドリブも入れながら自分たちの思いをしっかりと伝えることができたと思います。他校の発表は、自分では思いつかないような角度のアイデアばかりで、自分の考えの幅がすごく広がりました。プランだけではなく、実物を作成したり、実際に活動したりしているチームのプレゼンはとても説得力がありました。たくさんの

大人に自分の考えを聞いて真剣に考えてもらえる、とても幸せな空間でした。コンテストへの参加を通じて、山形には何もないのではなく、あることに気づいていないだけだと感じました。これからを担う私たちが山形での幸せについて真剣に考えることが、県全体の幸福度をより上げるのではないかと思います。

## 山形のあつまみパッケージデザイン大改造計画

二年二組 上嶋 千愛

二年一組 須藤ひかり

生徒会の活動で宮城県の高校を訪問した際に、山形県に関するイメージは「さくらんぼ」だけだと言われたことがあります。私達はそれをもったいないと感じ、もっと山形の魅力を知ってもらうために何が必要か考え始めました。そして私達はスーパードなどで多くの人が目にするところがある、パッケージデザインで山形の魅力をPRすることを考えました。私達がデザインしたパッケージデザインを他県の皆さんの目に入り、山形のイメージや良さを知ってもらったり、興味を持って調べてくれたり、観光に来てくれると嬉しい思いながら活動を進めました。大学の先生や学生にもオンラインでア

ドバイスをいただきながら、二人で協力しながら複数のパッケージアイデアを考えました。コンテスト本番は、学校ではなかなか聞くことのできない濃い発表が多くアイデアもとても面白かったので、今後の探究活動や生徒会活動などに活かしていきたいと思いました。また、山形の問題をポジティブに考え前向きに発表をしているのを見て、これからの山形がもっと楽しみに、そして励みになりました。

## 新庄に道の駅は必要か？

二年二組 皆川 牽誠

昨年の総合的な探究の時間で取材に行った際、新庄に道の駅を建設する計画が進められていることを聞きました。私は、一般の道の駅が作られるだけでは、地域の人も遠方からくる人も利用はあまり多くないのではないかと思つたので、有益な道の駅になるには、どうすればいいのかについて考え始めました。①子供、子育て世代、高齢者の三つが交わるコミュニティができること②市外から道の駅を訪れた人が、道の駅をきっかけに最上郡について知ること、道の駅以外の場所にも分散して訪れること③学生や若者が市内で遊ぶことで地元経済が活発化すること

の三つを狙ってアイデアを考えました。当日の発表は緊張で、正直あまり覚えていません。おそらく何度発表の練習をしても私は同じようにあの空気に呑まれ気持ち悪くなっていたらと思うと思います。しかし、事前にしてきた取材や発表準備にかけた時間は決して無駄にならなかったと思います。あのととき思ったことや会話した一つ一つの行動こそが、あの空気に呑まれていた自分を大きく動かし、審査員や大勢の観客の前で自分らしくプレゼンできたことにながったと思います。他のチームの発表も気圧されるような迫力と熱意で自分達のペースで話し、具体性、努力ともに高いクオリティだと思いました。





# 三歳の憶い

今、新大陸に到達・上陸しようとしている諸君を、年次団一同笑顔と拍手で送り出したい。何より、今年度は在校生諸君と保護者の皆様とともに卒業式を迎えられること、学校生活を支えてくださった皆様に三年次生の門出の姿を見ていただけることを嬉しく思います。そして、これまでの教育活動にご理解・ご協力をお借りして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

「ボンボヤージュ」入学当初学年主任からの一声で始まった北高生活。多くの先生方から導かれ生徒の皆さんには目的地の景色が見えてきたところでしょうか。この三年間クラスの仲間はもちろん部活動や生徒会そして様々な学校行事を通じ、仲間と育んだ友情や絆は間違いなくこれからの人生の大切な宝物です。友情や絆と言えば、先日の箱根駅伝で青学が二年ぶりの総合優勝を果たしました。原監督が常々「立つ自立から、自らを律する自律。それが出来る学生を育てたい」と言っていました。今まさに希望する進路に向かって自らの意思と行動で深夜まで励んだ事こそが自律の始まりだと思えます。北高からの卒業を新たなボンボヤージュとして、親からの自立はもちろん、将来責任が問われる社会人として一層の自律を目指してください。成人を祝う会で遅く、素敵になった仲間たちとの再会、楽しみですね。



永遠に続くときえ思われた高校生活もいつの間にか終わりを迎えようとしています。この三年間を振り返ると、得られたものが多かった学生生活だったと感じます。この新庄高校で様々な素晴らしい経験をできたのは友達や先生方、家族の存在があったからです。本当にありがとうございました。

私達新庄生はみんな夢や目標を持っていきます。達成までは紆余曲折がありますが、一番大切なものは強い意志であり努力であると思います。新庄生は結果を恐れず、自分には分からないことを持ちつて挑み続けることができま

私達新庄生はみんな夢や目標を持っていきます。達成までは紆余曲折がありますが、一番大切なものは強い意志であり努力であると思います。新庄生は結果を恐れず、自分には分からないことを持ちつて挑み続けることができま

私達新庄生はみんな夢や目標を持っていきます。達成までは紆余曲折がありますが、一番大切なものは強い意志であり努力であると思います。新庄生は結果を恐れず、自分には分からないことを持ちつて挑み続けることができま



## 行ってこい！新大陸！



三年次主任  
谷藤 温子

## ご卒業おめでとうございます



三年次委員長  
佐川 高志

## 夢に向かって



三年三組  
笠原 綺乃

# まだまだありますよ



二年次主任  
\* 森 保憲

暑さで部活動が中止になり、学校行事が延期になる。SF小説にあるようなことが現実となった、あの酷暑の夏ははるか彼方。ここ最上の冬、冬の新北の廊下はやはり寒かった。極寒。でもこの冬の美しさは格別です。そして格別なものも一つありました。

一大行事である修学旅行の中から遅ればせながらの報告です。生徒の様々な飛びぬけた個性、能力の高さに目を見張りました。一日乗り続けた新幹線、ほとんど話しつばなし、トランプ等でも必ず複数人でワイワイとコミュニケーション力+持久力には感動しました。また京都での早朝ランニング&散歩には運動部に限らず多くの生徒が練り出しました。次第に空が明らむ、まさに古典にある千年前に用いられた「東雲(しのめ)」とせを体感。旅館一階、朝のテレビ体操を見ながら体操のお兄さんとともに体を動かす生徒にはラジオ体操出席カードにハンコを押してあげたくなるような衝動に駆られました。中でも一番の衝撃は夜間外出において銭湯に行きサウナを楽しむという生徒たち。修学旅行の枠を超越しています。京都で暮らす市井の人々との裸の付き合い。京都人を育んできた水と、観光地で聞くよそ行きの言葉とは違う生活の中の言葉に触れ、体も心も、どっぴりと京都に浸っているようでした。



これがもう一つの格別なものでした。まだまだ秘められたものを持っていきます。これからもどんどん引き出していききたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

# 高二是いいぞ



二年次委員長  
\* 外塚 智

「高二是いいぞ」、このタイトルは、今年度第一号の二年二組学級通信に掲載されていた内容で、ここでも少し紹介させていただきませんが、高一是、学校が始まったばかりで、学校にもまだ慣れてない状態、高三は、受験などを控え何かと大変。そこにきて高二是、部活のリーダーになり、修学旅行もあつたりと、一番楽しい学年とのことでした。

# 二歳を懸ける

担任の先生が学生時代によく聞いた言葉らしいのですが、私も、この言葉には大変共感を覚ええました。新型コロナウイルスの収束に伴い、今年も、四年ぶりの通常開催という言葉をよく耳にしました。が、学校生活においても、修学旅行を始め各種行事が通常通り開催されたと思います。二年次の学校生活も間もなく終わりに近づいていますが、一年を通してみんなが「高二是良かった」という思いで進級してもらいたいと願っています。

# 年次通信北譜(ほつご)に込めて



一年次主任  
\* 伊藤 宗一

保護者の皆様には日頃のご支援誠にありがとうございます。新北のアンカーとして入学して早一年。復活した様々な伝統行事も経験し、やつと新北生として地に足がついてきた気がします。ご存じの通り新庄北高の最後の卒業生となる学年ですが、気負わず着実に校是の「質実剛健」を胸に、文武共に鍛え上げていきます。

# 一歳の挑み

メディア環境や探究学習など今の高校生は、昔前より高度な印象ですが、心身の成長速度は同じです。新北の一年間で確かに成長し、一人の大人としての「自立」に近づいてきていると感じます。どうか保護者の皆様にも社会人の先輩としてのアドバイスをお願いします。

来年四月から二年生。高校生活の華の時期です。この一年間の様々な挑戦と失敗・成功の繰り返し、生徒達を更なる成長に導くと確信しています。また進路希望も二年次後半には目標を定める必要があります。儂い夢物語でなく、確固たる決意と行動で実現に向けた努力を積みむべきです。今後とも保護者の皆様のご協力をお願いいたします。



# 格致日新



一年次委員長  
\* 斉藤 浩昭

コロナも明け生徒の皆さんの笑顔に充実した北高生活が伺えます。三年生の皆さんはすでに新たな扉を開きました。ささや度末の慌ただしい時期を迎え社会情勢はウクライナやイスラエルガザの紛争に尊い命が奪われていく悲惨な状況が続いています。年明けに能登半島を襲った大震災では一万人を超える避難所生活者のインフラ等復興に目途がつかない中、住民の共助の姿が胸を打ちます。一方で大谷翔平のドジャーズとの一億超の歴史的なビッグ契約に日本中が湧きました。経済活動は低金利と物価高騰により身の回りの生活に厳しい市場環境が続いており日経平均株価は年明け後も上昇し続け一月中旬には三万五千円を超え更に高値を更新しバブル期以来の高騰に投資に拍車がかかっています。都市部の億ションが完売、地方では少子高齢化と人口減少で二〇四〇年には日本の八九〇以上の市区町村が消滅する予想に地域での雇用促進の課題が浮き彫りになります。国内外の現状や情勢は生徒の皆さんにもメデイアの世界的なように感じているかもしれません。ですが数年後この厳しい社会に身を置くことになるのです。置かれた環境に適応し荒波を乗り越えなければなりません。今、準備が必要？いえ慌てなくても大丈夫です。乗り越えるためのモチベーションやその先にある達成感もモチベーションがありそれが社会貢献に繋がります。日々猶更チャレンジのし甲斐があります。日々の北高生活や学習で得られる気付きや失敗の羅針盤として成長の糧となることは言うまでもありません。OECDの作った教育目標はウェルビーイング社会と個人の幸福とあり、自律、対話、創造の力を育てるとされています。考え、価値観の違いを対話力により調整し協力して実行に移すこと。これは日々の学校生活の中にも都度訪れる場面ではないでしょうか。当事者意識を持ち行動することが、やがて将来にフィードバックされるものでしょう。大人目線で偉そうなことを言ったかもしません。私はPTA活動の醍醐味は子供と一緒に成長することだと思っています。子供達に寄り添い喜びや悲しみ全てのプロセスを共有しながら目標を重ね合わせる喜びはとても素敵なこととして証であり活動の原動力です。全力で皆さんを応援している私達保護者がいつも後ろにいます。「乗り越えられないものは無い」一緒に乗り越えていきましょう。

# 修学旅行



マラソン大会



スキー表彰式



スキー部



アンサンブル県大会



バスケット部



演劇放送部

## 修学旅行を通して

二年 庄司 葵



私達は修学旅行で沢山の思い出を作ることが出来た。多くの人が楽しみにしていたUSJ、京都での班別研修など。友達や班の人と協力して生活することで最初で最後の貴重な四泊五日を過ごすことが出来た。私が一番印象に残っているのは原爆ドームに行ったり、広島平和記念資料館で当時の写真を見たり、平和についての講話を聞いたりしたことだ。私達とほとんど歳が変わらない若者達は国の為に働いていた。それはどれほど辛かっただろう。私には想像できないほどの苦しさや哀しさを経験していたことを知り、心が苦しくなった。また、当時の方々に恥じぬように、今の私が出来ること、しなければいけないことを全力でしようと思った。

英語スピーチ



## 編集後記

皆様のご協力を頂き、「銀雪」第29号を発行できましたこと、感謝申し上げます。コロナ禍も明け、日常生活も大分戻ってきました。今回は生徒たちが撮影した写真がホームページ上に掲載されておりますので、そちらもお楽しみ下さい。  
(広報委員 小野 英章)

### 令和5年度 教育後援会・特別会員 協賛企業掲載

(敬称略)

- ◆ アイ・エム・マムロ株式会社
- ◆ 有限会社石川建設
- ◆ 株式会社新庄砕石工業所
- ◆ 新庄信用金庫
- ◆ 星川建設株式会社
- ◆ 株式会社丸友工業
- ◆ 株式会社最上振興
- ◆ 有限会社レディハウスラブ
- ◆ 矢口興業株式会社
- ◆ 保険ネットワーク山形
- ◆ 小野商会

以上11社

発行：令和6年2月29日  
山形県立新庄北高等学校 PTA広報委員会

広報委員長 1年次PTA副会長 齊藤 浩昭  
1年次 長澤 秀明・間 利光  
2年次 石山 久悦・小嶋 広弥  
鏡 利光・吉田 徹  
3年次 小野 英章・信夫 貴吉  
横山 一成・織江 尚史  
総務課 前田 陽一・五十嵐 奈保  
内藤 航・小野 洋二

写真提供：戸田写真館 印刷所：(有)みどり印刷



ホームページアドレス

<https://shinkita.jp>